

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ともともびじょん		
○保護者評価実施期間	2024年9月15日		2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2024年9月15日		2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童指導員、保育士、公認心理士が在籍しており、それぞれの立場からお子さまにとってより良い支援を検討し、療育に取り入れている。視覚機能においては、オプトメトリードクターが定期的に施設の訪問し直接に関わり支援計画にも携わっている	「見る力のアセスメント」記録を定期的に行い、個々の成長の段階の把握(ボディイメージ・バランスを含め)し、個別・集団活動の取り組み方を個々計画し工夫している。感覚アセスメント・WALES・読み書き検査ほか、保護者に説明し療育時間内に行い、情報共有し支援に役立っている。	全職員に情報共有やカンファレンスを行い、利用者の療育内容を把握できるように努めていく。基本方針はそのままに、子どもの発達にアプローチする様々なプログラムを考案し実施していく
2	多機能型事業所のため、就学後も変わらず療育に通っていたことができる。また、保育所等訪問支援を通して、園や学校と連携し、療育の中でお子さまの必要な支援を取り入れる事や、園や学校生活における課題において検討することができる	定期的に個人懇談や保護者会を通じて保護者間で情報交換できる場を設け、放課後等デイサービスの説明や案内を行っている。施設便りを作成し発行し、療育で行っている活動などの情報を発信している。当施設利用のお子さまには、保護者より希望があった場合、保育所等訪問支援をさせていただいて	年長のご利用の保護者に放課後等デイサービスの説明を例年よりも早く説明を行い、保護者見学などの提案をしていく。保育所等訪問支援の内容の情報提供を行っていく

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練、各種マニュアル、自己評価結果の開示など保護者への周知ができていない	各種マニュアルを玄関に設置はしているが、保護者に周知が行き届いていなかった。各種訓練、自己評価表の公表を行っているが全体として発信ができていなかった。	各種マニュアルの玄関設置場所に（視覚的に）工夫し、保護者に分かるように周知を行う。自己評価表公開の旨をLINE等で全体に発信し、避難訓練など実施した場合、HPやSNSにUPし、周知を行う
2	家庭支援、学校連携などの関係機関との連携において、保護者への周知が十分にできていない	希望されている保護者には連携などの実施はできているが、全体的な周知ができていない	保護者会や面談時に仕組みや情報を提供していく
3			